

シラバス

授 業 科 目	生活環境と健康		
(英 文 名)	Living Environment and Health		
担 当 教 員	赤崎健司、古野浩二		
単 位 数 (期別)	△2(前)	対 象 学 生	3P

■授業のねらい・概要■

生態系や生活環境を保全、維持するために、それらに影響を及ぼす自然現象、人為的活動を理解し、環境汚染物質などの成因、人体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本知識と技能を修得し、環境改善に向かって努力する態度を身につける。【C12(2)】

■授業(学習)の到達目標■

- 1 地球環境の成り立ちについて概説できる。生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。
- 2 人の健康と環境の関係を人が生態系の一員であることをふまえて討議する。
- 3 地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。食物連鎖を介した化学物質の生物濃縮について具体例を挙げて説明できる。
- 4 化学物質の環境内動態と人の健康への影響について例を挙げて説明できる。環境中に存在する主な放射性核種(天然、人工)を挙げ、人の健康への影響について説明できる。
- 5 水の種類をあげ、特徴を説明できる。水の浄化法について説明できる。
- 6 水の塩素処理の原理と問題点について説明できる。
- 7 下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。
- 8 水質汚濁の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。富栄養化の原因とそれによりもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。
- 9 大気成分を説明できる。主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。
- 10 主な大気汚染物質の濃度の測定法とそれらの健康への影響を説明できる。大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。
- 11 室内環境と健康の関係について説明できる。室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。シックハウス症候群について説明できる。
- 12 棄物の種類を列挙できる。廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。マニフェスト制度について説明できる。
- 13 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。
- 14 環境基本法の理念を説明できる。大気汚染を防止するための法規制について説明できる。水質汚濁を防止するための法規制について説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 地球環境と生態系 | 11 室内環境(赤崎) |
| (1) 地球環境の成り立ち(赤崎) | 12 廃棄物(1) 廃棄物の種類(古野) |
| 2 地球環境と生態系 | 13 廃棄物(2) 廃棄物の処理(古野) |
| (2) 生態系と人(赤崎) | 14 環境保全と法的規制(赤崎) |
| 3 地球環境と生態系 | 15 期末試験(赤崎) |
| (3) 環境問題の成因(赤崎) | |
| 4 地球環境と生態系 | |
| (4) 化学物質の環境内動態(赤崎) | |
| 5 水環境(1) 水の種類、浄化法(古野) | |
| 6 水環境(2) 下水処理(古野) | |
| 7 水環境(3) 水質汚濁(古野) | |
| 8 臨時(中間)試験(赤崎、古野) | |

シラバス

9 大気環境（1）大気の成分（赤崎）

10 大気環境（2）大気汚染物質（赤崎）

■成績評価の方法・基準■

2回の試験および出席により評価する。

■使用テキスト■

最新衛生薬学（渡部 烈、菊川清見 編）廣川書店 ISBN4-567-47152-0

テキストは2年次に購入済み

■参 考 書■

なし

オフィス・アワー	平日13時から18時。
(授業内容等の質問・相談日)	土曜日10時から12時。